

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が増加している。また、単価は小さいが、これまで見ていただけの客が買物するようになってきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・納得できるサービスや商品にならお金を使いたいという客の意欲を感じる人が多い。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・国内旅行の復活で来客数が増加し、販売量も増加している。冷夏なのでかき氷など喫茶部門の売上は減少しているが、土産品の売上は増加している。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・クリアランスセールが始まっており、まとめ買いの客が増加している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・法人の中元需要が低迷しているが、バーゲンの売上は好調である。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・法人の中元受注が苦戦しているが、クリアランスセールは好調で、同時期に投入している秋物も順調である。売上は前年を上回る状態で推移している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・クリアランスセールが非常に好調で、客が商品を奪い合う状況である。売上の対前年比も先月より大幅な改善となっている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・クーラーなどは動きが鈍いが、除湿器や乾燥機がよく売れている。 ・客単価は上向いてきているが、昨年と比較すると大きな変化はみられない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数が増加しており、購買意欲は高まっている。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・仕事量が増加してきており、やや良くなってきている。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きに良い傾向が見られる。ただしその要因は、長引く不況やリストラへの不安に対するあきらめ気分によるものなのか、夏休みなどの開放感によるものなのか、判断はつかない。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・愛知万博、東部丘陵線、デジタルタワーの建設工事に関連する客が増えている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・国内旅行への回帰の影響で、12月までの予約は前年の130～145%に増加している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・全般的に不安材料がなくなっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行の客が戻り、販売量は上向いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・観光旅行や仕事による国際線空港への客が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・これまで曜日によって客が極端に少ない日もあったが、今は平均に戻っている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新規契約数に顕著な増加はないものの、問い合わせが増えており、全体の雰囲気は良くなっている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・夏休みに入って団体客が若干多くなっている。
変わらない		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者間で低価格競争が起きている。特に慶甲関係では内容よりも価格重視の傾向になっている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・天候不順で来客数が減少している。また季節商品も売れていない。中元商品は対前年比20%減少している。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	単価の動き	・来客数はますますだが、全体的に客単価が低い。ただし、何人かの客が高額な購入をするため、売上は横ばいか若干上向いている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・改装前のバーゲンで客数は増加しているが、持続性に欠ける。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・中元商戦は、前年と比較して来客数は変わらないが、1人当たりの販売件数が減少している。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・来客数は1～2割減少している。商品の動きも良くない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・チラシ合戦になっており、客は他店のチラシが入ると少しでも安い店に行ってしまう。

スーパー（経営者）	来客数の動き	・週末に雨の日が多く、客足が思ったほど伸びていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・梅雨明けが遅れ、夏の商材に支障をきたしている。季節商品の動きも良くない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は95%前後で推移しており、回復の兆しは依然としてみられない。中元ギフトでも、化粧箱に入っていない低単価な実用ギフトの動きが良く、客単価の低迷を加速させている。 ・ボーナスから社会保険料が大きく引かれ、節約志向がより高まっている。
スーパー（店員）	単価の動き	・季節商品は前年を上回っており、季節行事がある時に客は集中する。しかし平日など通常時の客単価は悪い。
スーパー（店員）	単価の動き	・客は季節商材は値が張っても購入するが、定番商品は以前と比較して動きが悪い。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・たばこ増税の反動や長梅雨の影響が非常に大きい。しかし一般商品の動向に特に変化はない。
コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・全体の販売量が減っているが、特に増税されたたばこ発泡酒の販売量が前年の93%と目立っている。中元も前年の95%である。
衣料品専門店（企画担当）	お客様の様子	・一部の高価格商品に動きがあるが、安価品の数量が伸びていないため、全体としては大きな変化がない。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・ボーナス商戦でも財布のひもは固い。割安商品を中心に動いており、デフレは継続している。
家電量販店（店員）	単価の動き	・ボーナス月で客単価は上がっているが、販売量が落ちている。
乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者同士の競争が激化している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・コンパクトカーの売行きは減少傾向にあるが、それに代わる主力車種の売上が増加しており、販売量全体は変化していない。しかし買換えには慎重で、車検を選択する客が増加している。
その他小売〔総合衣料〕（店員）	販売量の動き	・梅雨明けが遅れており、夏物衣料の販売が例年と比較して悪い。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・7月初旬は良かったが、後半は冷夏のせいか低調である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・イベントを開催すると客は増える。ただしその時限りであり、後につながらない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・ボーナス時期ではあるが、客のボーナス支給額が減少しており、売上に変化はない。街の様子も変わらない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会は横ばいだが、レストランのランチタイムの来客数は増加している。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人客の動きが活発になっており、企業の海外出張も戻っている。ただし予約は9～10月に集中している。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・安い商品は売れているが、高額商品はなかなか売れない。
タクシー運転手	来客数の動き	・人出の多い日も数日あるが、前年と比較して来客数、売上に変化はない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・平日の来客数に大きな変動はないが、土曜日、日曜日は大きく減少している。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きは小康状態である。
美容室（経営者）	それ以外	・暑くなり季節的には来客数が増える時期であるが、長雨の影響で伸び悩んでいる。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客の回転が良くない。
美容室（経営者）	競争相手の様子	・同業者の数が増加しており、競争が激化している。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・金利が上昇傾向にあると情報提供しても客の様子に変化はない。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・賃貸マンション、アパートの建設やリフォームが増加している。中でも高齢者対応やペット対応などの要望が多い。

やや悪くなっている

商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は減少しており、販売量も伸びていない。必要以外の物は購入してもらえず、悪循環になっている。
商店街（代表者）	競争相手の様子	・大型店との競争が激化している。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	お客様の様子	・天候不順による影響が大きい。
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・中元商品の売上は1～2割減少している。来客数も減少している。
百貨店（外商担当）	販売量の動き	・中元商品の売上は前年並みか前年を若干下回る。バーゲン商戦も冷夏の影響のためか振るわない。
スーパー（店員）	単価の動き	・来客数に変化はないが、客単価が低い。客は必要な物だけを購入している。
スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・少し離れた場所に大型店が、近隣には高級スーパーが出店し、来客数が減少している。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・天候不良で飲料などの季節商品が動かず、売上は前年同月を下回っている。特に発泡酒は増税の影響もあり15%程減少している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は前年同月の82%台であり、対前月比では約12%低下している。たばこの増税や梅雨の長期化、冷夏などの影響が出ている。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・客の購買意欲は低く、安くなければ購入しない。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が前年比でかなり落ち込み始めている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数は極端に減少している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・従来ならば大きな需要期であるが、今年は盛り上がりが見られない。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・得意客などの中に失業者が増えている。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・住宅着工戸数、民間の新築ビル物件とも減少しているため、競争が激化している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・ボーナスカットの話が多く、財布のひももより固くなっている。
観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・割安プランばかりが求められている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・天候の影響で国内旅行の需要が落ち込んでいる。
観光名所（案内係）	来客数の動き	・観光客数が減少している。
ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・3月以降平日の来客数が大幅に減少しており、改善の兆しが一向にみえていない。愛知県のゴルフ場は全体で対前年比7%の減少になっている。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・天候不順で入場者数は厳しい状況である。料金割引も売上に響いている。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・本来なら忙しくなる時期であるが、客足が伸びていない。
設計事務所（職員）	それ以外	・近隣に大きなマンションが建設されているが、売れ行きは良くない。予想されている東海地震も不安材料になっている。

悪くなっている

商店街（代表者）	販売量の動き	・商品の動きが今一つ良くない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	単価の動き	・悪天候が不況に輪をかけている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・たばこの値上がりの影響で買い控えが顕著になっている。 ・天候不順と冷夏のため、ソフトドリンク、ビール、冷麺など、季節商品が激しく落ち込んでいる。 ・工場の人員整理やボーナスカットの影響で、来客数、販売量ともに減少している。 ・競合の激化がさらに進んでいる。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・長梅雨、冷夏の影響で飲料の売上がまったく伸びない。

		コンビニ（店長）	販売量の動き	・低温で飲料、アイスクリームなどの売上が2割程落ち込んでおり、売上減少に拍車をかけている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・創業以来、最もひどい売上である。
		家電量販店（店員）	それ以外	・低温が影響し、季節商品が非常に悪い。売上、来客数など全体的に落ち込んでいる。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・客単価は横ばいで推移しているが、競合店との競争が激化している。他店の見積りを持参する客も増えている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日の法人客の減少率が再び拡大している。また一時期回復傾向にあった週末の家族客や個人客の数も、7月に入って再び前年割れに転じている。
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は監視カメラを中心に堅調を維持している。海外販売も北米、欧州、アジアともにCCDカメラの売上が増加している。米国、カナダではイラク戦争終結に伴い回復の兆しがある。
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節変動以上に商品の動きが活発になっている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小口で納期も非常に厳しいが、受注量などは前月比で増加している。ただし単価は上昇基調にはない。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・採算割れしていた商品の値上げ要求が通るようになってきている。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・一般プロジェクトは工事規模が小さく受注量も少ないが、中部国際空港や愛知万博、都市再生プロジェクト関連の案件が出始めている。特に空港隣接用地の分譲開始により、中部国際空港関連が良くなってきている。
		その他非製造業【ソフト開発】（経営者）	受注量や販売量の動き	・経営に余裕のある企業には、前向きな投資を行うなどの傾向が見られる。
	変わらない	印刷業（営業担当）	競争相手の様子	・受注量は相変わらず前年度を下回っている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・IT関連の製品はますますの動きであるが、一般の製品の動きに勢いが無い。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現状は流動的で模様眺めの状態にある。受注量は客からの発注が鈍っているため低迷している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・引き合い案件の受注精度は高いが、案件数が減っている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・価格を下げた新製品には動きがあるが、全体的には低調である。設備全体を1つのブランドでそろえず、機種毎に吟味する傾向がある。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・取引先企業の設備投資の動きが良くなっている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・長梅雨で雨や曇りの日が多く、季節の物が動いていない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・取扱荷物量が前年を下回る状態が続いている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・例年7月は荷動きは活発になるが、今年はそのような動きがみられない。前月は少し明るい兆しがみられたが、今月は思わしくない。
輸送業（エリア担当）		受注量や販売量の動き	・季節的な伸びが出る時期であるが、今年はそのような伸びがない。	
輸送業（エリア担当）		取引先の様子	・中元の荷物が少なく、荷動きに活気がない。	
金融業（企画担当）		取引先の様子	・コスト削減のため、保険料の安い系列外の保険会社にしてもよいという顧客企業が増加している。	
企業広告制作業（経営者）		取引先の様子	・取引に動きがない。	
公認会計士		それ以外	・顧客企業の業績が悪化している。	
経営コンサルタント	それ以外	・信用金庫の貸出先の業績が悪化している。		
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・分譲住宅地は短期間で10%以上も値下げしている。デベロッパーの新規土地取得意欲は極めて低い。	
				・5%程度の減収減益になっている。

		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・業種によって受注量に格差が出ており、生産量もやや減少している。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・見積依頼が増えるなどの動きが出ているが、金融機関や周辺業者の姿勢は厳しく、積極的な展開がしにくい。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・家電と不動産のチラシの大幅な減少が、チラシ広告全体に影響している。
		税理士	受注量や販売量の動き	・梅雨明けが遅れた影響で、食料品小売業、製氷業、衣類関係、建設関係の受注、販売量が減少している。
	悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・受注単価が引き続き低下している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・注文があっても、注文書が届くまでに1か月くらいかかる。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・全業種とも派遣需要に増加傾向がみられる。特に自動車関連の派遣需要が増加している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣登録の希望者数が減少してきている。求職者数の改善が背景にある。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・自動車関連企業や、万博工事に伴う警備員の求人が増加している。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・生産工程の現場では、女性に適した仕事が増加している。そのため、女性は人手不足、男性は余剰といった雇用のミスマッチが生じつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は緩やかではあるが増加傾向にある。ただし建設関係においては、公共工事の削減により従業員を維持することが苦しくなっているなど、不安要素がある。
		職業安定所（管理部門担当）	それ以外	・有効求人数はやや減少、求職者数は横ばいで、改善傾向は見られない。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・自動車業界では、年間の採用予定人数に変化はないが、1～3月期のような積極的な採用の動きには至っていない。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・建設関係の求人広告が再び落ち込んでいる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前と比較して有効求人が3.1%減少し、有効求職者が7.1%増加しており若干低下している。先月と比較するとやや上昇している。 ・新規求人は前年同期と比較して、卸売業、小売業で減少したが、製造業、建設業、サービス業、運輸、通信業で増加しており、全体では28.9%増加している。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・企業の求人募集は増加しているが、採用に結びつかない傾向にある。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者の採用数は3月以降686件、607件、557件、521件と減少傾向であり、採用率も7.61%、6.26%、5.83%、5.61%と低下傾向にある。求人側が年齢制限を緩和しないため、面接に行くことさえできない中高年齢者が多い。
	悪くなっている	-	-	-